

平成25年度「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」(地域会議)四日市地域サミット会議の主な発言内容

平成26年1月14日 現在

発言市町名	議題項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
1 四日市市	議題1 災害時の医療・介護について	備蓄物の支援について	<p>有事の際には、三重県・市町の災害時応援協定に基づいて、県及び市町の相互応援による生活必需品等の提供等の措置がなされるが、福祉避難所においては特殊な物資も必要となってくる。また、一般の避難所での生活が困難な方の避難が集中的になされるため、物的・人的な面で特に配慮が必要であり、柔軟な対応がなおかつ迅速に行われる必要がある。</p> <p>そのために、広域的な罹災状況のもとで、県内の各市町の福祉避難所間の備蓄物の融通、あるいは人材派遣といったことが想定される。県として、そうした時の施設間の物資、あるいは人材の融通の調整といった機能をもって、確実にそれを行えば、スムーズに対応ができると思う。</p>	<p>平成24年8月に三重県市町災害時応援協定を改定し、25年2月に実施細目を定めたが、福祉避難所間の物資を融通する仕組みについては、その協定に盛り込ませていただいたところである。個別の施設の理解・認識も重要なので、県・市町の担当者会議の場などで共通認識しながら、市町間の連携を促していきたい。福祉避難所が資機材を整備する時の財政的な支援については、国に対して要望しているところである。</p>

発言市町名	議題項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
2 四日市市	議題1 災害時の医療・介護について	人材育成について	<p>施設や住宅の区別を問わず、医療職や福祉職に就いておられる方々は、災害時においても非常に貴重な戦力であり、専門知識や技能を十分に発揮することを望まれている。特に介護が必要な方への支援として、災害時に知識、技能を活かして、どのように行動していただきたいのか、あるいは先導的な役割を期待する意識付けとして、さまざまな機会を捉えて研修を行うなど県としての働きかけを行っていただきたい。</p>	<p>三重大学と連携して、防災関係の人材育成を進めてきたが、平成24年度から特に女性の関係の防災人材というのを育成していこうということでスタートしている。その枠組の中で、25年度は共通講座だけでなく、「医療・看護」、「保健・福祉・介護」、「教育・保育」の3分野の専門講座を開講し、その関係の看護師、助産師、保健師、介護福祉士などの方に受講いただいた。こういう人材育成を進めながら、受講者間のネットワークの形成も連携してやっていかなければいけないのかなと思っている。医療の人材については、今年度災害医療コーディネーターを委嘱し、その方を対象とした研修や、看護職の方を対象とした災害看護研修、医師を対象とした外傷初期診療に関する研修を行っている。また、四日市地域では、12月10日に桑員地域と連携して情報伝達訓練を行っているが、そうした訓練も通じて人材育成を図っていきたい。福祉介護職員の関係では、三重県社会福祉協議会の研修センターの研修事業に補助を行い、平成25年度は老人福祉施設職員を対象とした自然災害時の施設内における対応について研修を行った。今後もこういう研修を充実していくことでしっかり取り組んでいきたい。</p>

平成25年度「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」(地域会議)四日市地域サミット会議の主な発言内容

平成26年1月14日 現在

発言市町名	議題項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
3 四日市市	議題1 災害時の医療・介護について 三重県介護保険事業支援計画等への位置づけについて	平成26年度は、27年度から3か年の三重県介護保険事業支援計画、高齢者福祉計画の策定を行う年であると聞いているので、今提案したような災害時のことも十分勘案し、その計画の中に反映して、制度の構築に努めていただきたい。	第6期三重県介護保険事業支援計画の位置づけについては、計画策定時に市町の皆さんにもそれぞれご意見を伺う場面があるかと思うので、他の市町さんでもぜひ盛り込んでほしいというお話があれば、前向きに検討し、計画に盛り込んでいきたいと考えている。
4 四日市市	議題1 災害時の医療・介護について 福祉施設への避難者の集中について	福祉施設は特に北勢にたくさんあり、いざという時に避難者が北勢の施設に集中することも考えられ、人によってはそこに入れないという事態が生じないように、広域で、県外との連携も必要かと思うが、その点についてどうか。	福祉避難所に関しての県外との融通とか入所の調整については、まずは市町との協定の中で県内でどう対応できるか現実化していくということをしたうえで、被害の規模に応じて、県外、隣県とも考えていかなければならないかもしれないが、まずは県内での協定に基づくことをしっかりと機能させるように連携させていただくということかと思う。県外については、他県の事例も研究してみたいと思う。

平成25年度「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」(地域会議)四日市地域サミット会議の主な発言内容

平成26年1月14日 現在

発言市町名	議題項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容	
5 朝日町	議題1 災害時の医療・介護について	今年度設置された地域災害医療コーディネーターの役割について	地域災害医療コーディネーターが実力を発揮するためには災害医療に関する研修や訓練等が必要だと思われるが、それらの研修体制は確立されているのか。	去年の8月にコーディネーターの委嘱をし、第1回の研修を8月、第2回を11月に開催、第3回を今年の2月に開催する予定である。1回、1回の研修の中身を充実させていく、コーディネート業務にしっかりあたっていただけるようにするというようなことを心掛けていかないといけないと思っている。
6 朝日町	議題1 災害時の医療・介護について	災害医療を支える人材育成について	朝日町を含む三重郡においては平常時は桑名保健所、災害時の情報収集は北勢福祉事務所で行うなどと他地域にはない体制となっている。そのような中でコーディネーターが地域でコーディネート機能を十分発揮できるよう準備や体制が大変重要であると考えているが、県の考えをお聞きしたい。課題であると考えている部分があれば、それをどのように解消していくかも合わせてお聞きしたい。	12月10日に桑名保健所、北勢福祉事務所、四日市市保健所が中心となり、桑員地域と四日市地域の医療機関、消防、警察、市町、地域防災総合事務所の他、両地域の災害医療コーディネーターが参加する情報伝達訓練を実施した。災害医療コーディネーターの皆さんに状況をしっかり理解していただくよう、このような訓練を積み重ねていくことだと思う。 1回の訓練の中でたくさん学べるように訓練とその訓練の検証報告会をしっかりやって学びを深めてもらう、1人でも多くの災害医療コーディネーターの方に訓練に参加していただくというようなことを課題として考えている。

平成25年度「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」(地域会議)四日市地域サミット会議の主な発言内容

平成26年1月14日 現在

発言市町名	議題項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容	
7 朝日町	議題1 災害時の医療・介護について	災害に関する人材の育成について	今後、県の防災コーディネーターの方とそれぞれの市町の養成を図る意味で、そういう面での講座といったものを考えているか。	来年度、三重大と連携して、三重大に人材の育成と活用をするためのみえ防災・減災センター(仮称)を作り、そこでいろんな職種、地域、企業、そうしたところでの防災に関する人材の育成活用を進めていきたいと思っている。啓発も一緒にやっていこうと思っており、そういうところでの講座等、検討していきたいと思う。
8 川越町	議題1 災害時の医療・介護について	三重県災害医療対応マニュアルについて	①昨年度のサミット会議においては、年度末までに改訂を終えるという話であったが、今年度行われた県の地域機関体制の改編に伴い、最終調整が遅れ、改訂は本年度になったという旨の報告を受けている。改訂したものについて、防災訓練を通じ、実効性を確認していくとのことであったが、その検証はどうか。 各地域におけるマニュアルの状況もお聞きしたい。 ②市町の意見を十分に聞いて策定していただきたい。市町によって状況が違うと思うので、十分に理解いただき対応していただきたい。	①災害医療対応マニュアルについては、24年度から25年度にかけて検討を行い、去年の11月に第2版として策定した。会議や研修の機会、訓練を通じて情報共有と実践化を進めていきたいと思っている。このマニュアルに基づいて、各保健所単位の地域災害医療対応マニュアルについても見直しを進めているところである。今後も、各種訓練を通じて実効性を確認し、必要に応じて更新していくことにしていきたいと思っている。

平成25年度「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」(地域会議)四日市地域サミット会議の主な発言内容

平成26年1月14日 現在

発言市町名	議題項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
9 川越町	議題1 災害時の医療・介護について	広域災害救急医療情報システム(イーミス)による重篤患者の移送や被災者の受け入れ調整について	<p>①広域災害発生時において、重篤患者の移送や被災者の受け入れ調整を迅速に行うには、医療機関側の体制状況の把握が重要である。</p> <p>昨年度、防災訓練等を通じ実効性を検証していくということであったが、災害拠点病院より裾野が広がった34の病院でイーミスに参加しているわけであるが、これらを含めた検証がどのようになっているのかお聞きしたい。</p> <p>災害派遣医療チーム(DMAT)の活動についても、県総合防災訓練において、関係医療機関との連携強化に努めていくとのことであったが、災害時には災害拠点病院のみで対応は難しく、二次救急医療機関との連携も含めた検討が必要と思われるが、その点についてもどのようになっているのかお聞きしたい。</p> <p>②いろいろな状況が変わってきた場合に対応できるような、そういう訓練を十分これから重ねてやっていただきたいと思います。</p>	<p>①今年度イーミスによる情報収集訓練は、これまで4回実施している。イーミスの分に限らず、今年度は8月31日の内閣府広域医療搬送訓練、9月1日の県総合防災訓練においても、医療面を特に大きな柱として行った。</p> <p>それぞれの訓練の検証報告会を災害医療コーディネーターの第2回研修会と併せて11月10日に実施したところであり、「衛星電話、防災行政無線が繋がらない機関があった」等、様々な課題を出していただいた。今後の訓練を繰り返していく中でクリアしていきたいと思う。</p> <p>DMATについては、去年の11月末現在で、すべての災害拠点病院でDMAT研修を受講し、1チーム以上のDMATを保有しているという現状である。今後、訓練や研修の機会を活用し、技能の維持を図っていきたいと思っている。</p> <p>②しっかりやっていきたい。</p>
10 菰野町	議題1 災害時の医療・介護について	医療審議会の議論について	<p>県の医療審議会災害医療対策部会の議論を見たいが、ホームページに載っていないようであるがどうか。</p>	<p>議論が分かるような資料を提供するなり、ホームページに載せるなり、しっかりさせていただく。</p>

平成25年度「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」(地域会議)四日市地域サミット会議の主な発言内容

平成26年1月14日 現在

発言市町名	議題項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容	
11 菰野町	議題1 災害時の医療・介護について	人材育成について	<p>①人材育成には裾野を広げることと専門家を育成することの2点があると思う。知事が先ほどの議論でどういう意味で言われているのか考えをお聞きしたい。</p> <p>②人材育成の講習を受けた方は税金で受けているので、災害時にはこういうことをしてくださいというようなところまで視野に入れてもらい、また裾野を広げる部分は市町の役割なので我々もしっかりやる。</p>	<p>①当面はどちらかという、専門的な人材育成を中心にやっていくべきだと思っているが、今後みえ防災・減災センター(仮称)の人材育成内容を設計していく中で市町の皆さんと意見交換し、裾野のことであるがやってくれよということであれば、対応するような議論をしていきたい。</p> <p>②税金で受けてもらっているので、研修の中でしっかりやっていきたいと思う。</p>
12 菰野町	議題1 災害時の医療・介護について	コメディカルの方々の役割について	<p>①保健師、介護士、看護師といった方々にもっと専門性を持ってもらう方向にいくのか。また、発災時に自分たちの施設での対応をするのか、もっと枠を広げて地域全体のコーディネートをするのか、といったポジショニングの切り分けが必要ではないのか。</p> <p>②保健師、看護師、介護士の方々を福祉避難所にどう貼り付けるかということをお我々も知恵をしぼってやるので、県は被害の大きい地域に対して厚く広域調整するとか、県の自前の保健師をここに貼り付けるとか、そこまでの考えを持ってもらえると、地域住民としては少し安心感が出るかなと思う。</p>	<p>①リーダー的な役割を持つ人から広げたい。幹がしっかり育たないと、一緒に動いていく人たちの育成になっていかないのかなと思っている。</p> <p>②市町の範囲、県全体で重点的にどう充てるか、県外の保健師さんをどう受け入れて支援してもらおうか等についても議論させていただいて計画的に備えをしていけるようにできればと思う。</p>

平成25年度「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」(地域会議)四日市地域サミット会議の主な発言内容

平成26年1月14日 現在

発言市町名	議題項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
13 菰野町	議題1 災害時の医療・介護について	介護的なトリアージについて	発災時には、いきなり福祉避難所ではなく、一次避難所に行くと思う。小学校や公会所に避難された方に介護的なトリアージを誰が行うのか。そういうところの議論を三重県保健福祉計画の議論に盛るのか、事務方のレベルで議論するのか。	介護的なトリアージについては、避難所運営というものについての在り方で、どこまで市町で、県はどうサポートするのか、現場の意見としてどう思われるのか、これからよく議論しなければいけないと思っている。
14 菰野町	議題1 災害時の医療・介護について	桑名保健所と北勢福祉事務所の有事の権限切り替えについて	三重郡は平時は桑名保健所、有事は北勢福祉事務所の管轄となるが、発災し平時から有事に切り替わった時に権限はどうするのか。北勢福祉事務所の管轄に四日市市保健所の権限を入れるのか、四日市市保健所にまかせるのか、その区分けをしておかないといけない。私としては、四日市市保健所の中に我々の保健所機能を持ってほしいが、過渡的な状況の中でどう判断されるのか。	(医療対策局長) 情報収集機能を桑名保健所から北勢福祉事務所へ四日市地方災害対策本部の設置時点で切り替えるというふうに考えている。

平成25年度「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」(地域会議)四日市地域サミット会議の主な発言内容

平成26年1月14日 現在

発言市町名	議題項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
15 菰野町	議題1 災害時の医療・介護について	慢性疾患の方々への処方について	災害時に慢性疾患の方々への薬、注射等の処方箋をどうするのか。薬剤師会、医師会、保健所等の関係機関で権限をどう持ち合うのか。	薬剤師会がお薬手帳を非常時持ち出し用のリュックに入れておいてほしいという啓発をしているので、それに我々がどう協力していくのか。慢性疾患の方々への薬の出し方に論点があるのは承知しているので、そういう部分も議論していかなければいけないなど思っている。

発言市町名	議題項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
1 四日市市	議題2 産業活性化に資する道路等のインフラ整備の促進について	霞4号幹線の整備について	<p>港湾関連の交通需要は今後増加する見込みであるが、背後の国道23号、1号は慢性的な混雑状況であり、これ以上の負荷をかけずに背後地と連絡する新たな輸送路として霞4号幹線の整備が行われている。この道路を伊勢湾岸自動車道・北勢バイパス等の道路と連絡することで、名古屋港と一体的な物流軸を形成することにつながり、背後圏を含む産業の発展に大きく貢献し、港湾サービス水準向上の効果もある。また、霞ヶ浦の地区は出島であり、背後地との連絡は霞大橋1本しかなく、大規模災害が発生し損壊した場合は、港湾機能が麻痺するだけでなく、港で働く人々の避難経路が確保できなくなるため、代替性の確保も非常に大きな要因である。</p> <p>これらの理由から、霞4号幹線を少しでも早く整備をやっていただくよう、国に対しての要望を強化してぜひお願いしたい。</p>	<p>国により平成29年度の完成を目指し、整備が進められている。</p> <p>去年も春も秋も国に行き、県選出国會議員等にも要望を行っているので、引き続き四日市港管理組合副管理者のお力もお借りして、国への働きかけを強めていきたい。</p>

発言市町名	議題項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
2 四日市市	議題2 産業活性化に資する道路等のインフラ整備の促進について	国道1号 北勢バイパスの整備促進について	<p>新名神、東海環状自動車道が供用されると、四日市港・東名阪自動車道・伊勢湾岸自動車道が相互連携し、東西南北に開けた一大物流拠点形成される。その恩恵を最大限に享受するためには、平成30年度の新名神高速道路の供用までに、北勢バイパスを国道477号バイパスにタッチさせることが非常に効果大きいと考える。</p> <p>現在、垂坂町から市道日永八郷線までの区間について平成26年度の供用を目標に整備を進めていただいているところであるが、残る区間の中でも477バイパスまでの区間について、平成30年度までにタッチできるよう、国への働きかけをお願いしたい。</p> <p>期限を持ち出しての要望の方法については、全体の整備の早期促進を訴えながら、この年度までにここまで開通すると、これだけの非常に大きな効果があるということを同時に訴えていく方がトータルで見れば効果があるのかなと思う。今後のやり方については議論させてもらうが、いろんな高速道路とこの地域の幹線道路がリンクすることの大きな効果を前面に打ち出すことで、東京オリンピックの事前合宿誘致や国体などへも非常に大きな追い風になると思う。リンクということを前面に打ち出していくようなことも今後のやり方として、議論の俎上に載せていただきたい。</p>	<p>市道垂坂1号線から市道日永八郷線までの約1.4km区間は、平成26年度中に供用予定、国道365号から国道477号バイパスまでの間は今年度新たに工事着手となっている。各市町の皆さんも含めて、粘り強い要望により、少しずつではあるが、このように進展しているのかなと思っている。</p> <p>477号バイパスから四日市市采女の国道1号の間でも地元調整が推進されており、早期の工事着工に向けた事業展開を図ることが重要だと思っている。</p> <p>年を区切ってここまでこうしてくださいという要望の仕方がいいのかどうかは、研究させていただいた方がいいのかなと思う。働きかけの仕方については、さらに皆さんと研究させていただければと思っているし、いずれにしろ強く働きかけていくことについては、変わりなく思っている。合わせて、地元調整や埋文調査でご協力いただくこともあろうかと思うので、今後ともよろしくをお願いしたい。</p> <p>4車線化については、情報共有と国土交通省の交通安全対策への協力ということでやっていくということかなと思っている。</p>

発言市町名	議題項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
			<p>一つ心配しているのは、これから次の段階で、ゴルフ場の下をトンネルで抜く工事が入ってくるが、何年か前は3年で終わると聞いていたが、去年国交省の方に聞くと5年かかるということ、そうすると477パイパスまで5年かかり、とても30年度にタッチしない状況である。技術的な問題であるが、5年を短縮できる方法がないものか、それも含めて国交省へ要望活動したいと思うので、もし考えがあればお聞かせいただきたい。</p>	<p>医療や産業の活性化等において、北勢バイパスの重要性は十分認識しているので、これからも皆さんと一緒に働きかけを強めていきたいと思っている。</p> <p>効果を一定見せながらできるのであれば、その方がいいと思うので、要望の仕方はいろいろご相談させていただければと思う。 (県土整備部長) 5年というのを聞き及んでいないので、一度、事務所と協議させていただく。</p>
3 朝日町	議題2 産業活性化に資する道路等のインフラ整備の促進について	国道1号 北勢バイパスの整備促進について	<p>景気が回復していく中で、道路渋滞によって損失時間が増えるのは、景気回復の足を引っ張りかねないと思う。そういう面でさらにスピードを上げていただく必要があるのではないか。また、水没等非常時のためにも北勢バイパスを早く整備していただきたい。</p> <p>延伸に伴い、1号線との交差点がすごく渋滞するので、北勢バイパスの延伸と同時にそういう所の交差点改良・4車線化も計画していく必要があるのではないか。</p>	

平成25年度「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」(地域会議)四日市地域サミット会議の主な発言内容

平成26年1月14日 現在

発言市町名	議題項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
4 川越町	議題2 産業活性化に資する道路等のインフラ整備の促進について	国道1号 北勢バイパスの整備促進について	国道1号線及び23号線の渋滞がひどく、23号線は産業道路的なこともあり、騒音や振動、排ガス等により生活環境に悪影響を受けている。また、渋滞により一部車両が町内の生活道路に流れ込み、住民も安全的に不安なところがある。早くバイパスが繋がれば、流れも変わると思うし、23号・1号線の渋滞を回避する道路になるのではないかと考える。また、災害時・平時でも三重県立総合医療センターに行く「命の道路」としても重要である。整備をどんどん進めるよう、国の事業であるが、強く要望していただきたい。	
5 菰野町	議題2 産業活性化に資する道路等のインフラ整備の促進について	四日市インターアクセス道路について	477バイパスはよろしく願いしたい。	(発言なし)

発言市町名	議題項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
6 菰野町	議題2 産業活性化に資する道路等のインフラ整備の促進について	霞4号線の南への延伸について	<p>新名神ができてくると、産業的にも観光的にも既存道路について、右折ポケットの設置とか小さな課題が出てくるので、個別にお願いしたい。</p> <p>霞4号幹線ができて、南にどう抜くかという話を知事がどう考えられるか聞いてみたい。この間、鈴亀道路が23号ぐらいまでタッチする計画が出ていたが、そのあたりまで臨海部の道を延ばしていくということは、だいぶ先になるが、三重県としてどう描かれるか。</p> <p>東京オリンピックが決まり、公共事業の枠が同じで、首都圏に公共工事が集中するのではと言われているが、我々としては、かなり強烈に北勢バイパスなどの国直轄の部分にアピールしていかないといけないと思っている。</p>	<p>個別のことは、それぞれ地元の建設事務所とやっていただければと思う。</p> <p>霞4号を南に抜いていくかどうかについて、県庁とか四日市港管理組合としてコンセンサスをとったことがないので、個人的見解ではあるが、今回鈴亀道路の整備に決断至ったのは、北勢地域は特に東西の軸が弱いという思いがあったので、鈴鹿市・亀山市とやっていこうということで進めた。それによってどれくらいの効果が出るのか詰めてからでないと、南に抜くというのを想像しにくいですが、鈴亀道路とか北勢バイパスとか縦の軸ができることで、その他の道路の状況がどうなのか、ファクトを把握してからの課題なのかなと思っている。縦の軸と横の軸ができることでの効果を定量的にみてみないと、組織としては結論付けるのは難しいかなと、そんな感触である。</p>